

奈良まほろば ソムリエの会 15周年記念誌

2026



目次 CONTENTS

02	15周年記念誌の発刊にあたって NPO法人奈良まほろばソムリエの会 理事長 豊田敏雄
03	奈良まほろばソムリエの会とは
05	TOPICS 受賞
06	TOPICS Nara観光コンシェルジュアワード 書籍
07	TOPICS 新聞連載 テレビ・ラジオ出演
08	TOPICS 企画・提携事業
10	「ゆうドキッ！」出演7年の歩み
11	15年の歩み 2011-2025
17	グループ紹介 ガイドグループ
18	保存継承グループ
19	講演講座グループー公民館講座サークル
20	講演講座グループー受託講座サークル
21	啓発交流グループー啓発サークル
23	啓発交流グループー女性サークル
25	啓発交流グループーかるた普及サークル
26	啓発交流グループー史跡探訪サークル
27	啓発交流グループー関東サークル
28	奈良検定支援グループ
29	定点ガイドグループ、サロン・ド・ソムリエ
30	広報グループ
31	データで見る15年 会員数 ガイド顧客数
32	シリーズ講演会「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」連続講演会
33	文化イベント
34	研究発表会
35	講演会
36	歴代役員
37	年表・組織図

◆ 2011年4月29日の「奈良まほろばソムリエ友の会」発足に始まり、「NPO 法人奈良まほろばソムリエの会」を結成後、早くも2026年で15年が経ちました。ここまでの15年の活動から代表的な事項を中心に抜粋し、15周年記念誌としてまとめました。ご笑覧ください。

(広報グループ)

15周年記念誌の発刊にあたって

NPO法人奈良まほろばソムリエの会

理事長 豊田 敏雄



奈良まほろばソムリエの会が、任意団体「奈良まほろばソムリエ友の会（以下「友の会」）」結成から15年、「NPO法人奈良まほろばソムリエの会」設立から13年を迎えることができましたのも、ひとえに関係者各位のご指導とご支援の賜物と、心より厚く感謝申し上げます。

奈良を愛し、奈良に精通する人たちを増やすため、2007年（平成19年）に「奈良まほろばソムリエ検定」試験が実施され、2009年（平成21年）に初の奈良まほろばソムリエ合格者が誕生しました。

2011年（平成23年）2月には奈良商工会議所の呼びかけにより、「ソムリエ合格者の集い」が開催され、同年4月に153人の有志が集まり「友の会」を結成。同年6月には、「発足の集い」として第1回総会が開催されました。

それからわずか2年、2013年（平成25年）2月には「NPO法人奈良まほろばソムリエの会」が誕生し、任意団体から法人に移行しました。

NPO法人設立後の活動はめざましく、各グループの皆さんは日夜活動に励み、その成果は県民の皆さまをはじめ、県内を訪れる多くの皆さまから、喜びと称賛をいただいてまいりました。

その後も順調に活動範囲を拡大し、会員数約450人を擁する組織に発展することができました。しかし2021年（令和3年）の設立10周年には、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、予定していた記念行事を中止せざるを得ませんでした。当時を振り返ると、私たちの活動も大きな制約を受けながら、それでも奈良の魅力を伝え続けたい、奈良県の観光および文化振興に寄与したいという思いが、皆さん一人ひとりの中で静かに育まれていたように感じます。

おかげさまで、2026年（令和8年）4月、当会は、設立15周年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆さん一人ひとりの情熱と、奈良を愛する心の積み重ねによるものだと感じております。本誌が、これまでの活動の軌跡を確かめるとともに、未来への新たな一歩を踏み出す力となれば幸いです。

「友の会」設立から10周年を迎えた2021年（令和3年）11月、当会は「寄付金取扱規定」を定めました。これから到来する15周年、20周年、さらに30周年などの周年イベントの実施や記念誌の刊行に備え、あらかじめ資金的な手当てをしておこう、という趣旨により定めたものです。

これに対し、会員の皆さまから毎年、多額のご寄付をいただき、おかげさまで、今では累計1,815,150円（2026年3月31日現在）にまで達しました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

これからも奈良の観光および文化振興のさらに新しい分野を開拓し、かつ深めながら、20周年、30周年に向けて、恥じない活動を展開してまいります。

今後とも引き続き皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、本誌の制作に従事された広報グループの皆さんおよび15周年記念行事の運営を支えてくださったすべての皆さんに、心から感謝申し上げます。

奈良まほろばソムリエの会とは

奈良まほろばソムリエの会は、「奈良まほろばソムリエ検定」(奈良検定)実施を契機に組織されました。

当初は2011年(平成23年)4月29日、同検定の最上級資格である「奈良まほろばソムリエ」合格者同士の親睦・交流団体として、任意団体「奈良まほろばソムリエ友の会」を結成しました。

2013年(同25年)2月6日にNPO法人化、その時から、奈良を愛する人なら誰でも入っていただける会といたしました。

会員数は発足当初の153人から445人(2026年3月31日現在)と大きく増えました(うちソムリエ合格者は408人)。平均年齢は69.0歳です。以下、主として10周年記念誌刊行以降のできごとを紹介いたします(専務理事 鉄田憲男)。

◆「奈良検定」新テキストを制作中

現在、『奈良まほろばソムリエ検定 公式テキストブック』(山と溪谷社刊)の全面改訂(新規書き下ろし)に、取り組んでいます。執筆者は77人、編集委員は14人から手が挙がりました(すべて当会会員。合計=延べ91人)。

現行のテキストは2007年(平成19年)9月に刊行され、約20年が経過し、奈良検定も2026年3月で19回目を迎えました。これまでテキストの本格的な改訂は、一度も行われていませんでした。

新テキストは、この期間中に起きた新たな事象を追加し、より分かりやすく、読んでいただきやすいテキストとし、より多くの受験者の獲得をめざしています。新テキストは、2028年度中の刊行を予定しています。

◆書籍の刊行

当会はこれまでに6冊の書籍を刊行しました。『奈良「地理・地名・地図」の謎』『同 増補改訂版』『奈良の「隠れ名所」』(以上、実業之日本社刊)、『奈良百寺巡礼』『奈良万葉の旅百首』(以上、京阪奈情報教育出版刊)、『奈良にうまいものあり!』(なら文化交流機構刊)です。

このほか会員などが執筆した書籍として、古代吉野を見直す会著『神仙境吉野の謎に迫る』、小倉つき子著『廃寺のみ仏たちは、今』、久門たつお著『奈良の太平洋戦争』(以上、京阪奈情報教育出版刊)があります。

会員の皆さんのご著書も、当会のイベントなどの機会に、販売協力してまいります。



2012年11月18日 NPO法人 設立総会



2025年7月12日 新テキスト執筆者説明会



2026年3月14日 編集委員会



奈良の食文化研究会編著・当会協力
『奈良にうまいものあり!』



久門たつお著『奈良の太平洋戦争』



2026年2月7日「私の推し」のプレゼン大会での講演



同日 新春交歓会 マジックの披露



同日 新春交歓会でのノリノリの歌唱



同年3月1日 サロン・ド・ソムリエでの講演



同年2月21日 大倉本家での酒蔵見学と試飲会

◆コロナ禍を超えて

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）は、2020～2023年の間の3年3ヵ月にわたって猛威をふるい、やがて収束しました。

これにより、「**社会のOS（基本ソフト）が書き換えられた**」といわれるように、世の中の仕組みが大きく変わり、また当会も大きな打撃を受けました。

定時総会は、書面決議に変更されました。また2021年に到来した当会の設立10周年記念事業は、大幅な縮小を余儀なくされ、予定通り実施されたのは、プレ10周年記念「十津川村バスツアー」の催行と、『奈良万葉の旅百首』の刊行だけでした。奈良検定も、2021年1月実施予定の試験が、中止となりました。

この後遺症（余波）は今も残り、コロナ収束後も、6月の総会、秋の文化イベント、新年の「私の推し」のプレゼン大会・新春交歓会の参加者数は、軒並み低迷を続け、5～7割減という寂しい状況です。私もコロナ前には年間50回程度、要請のあった講演の機会も半減し、今も一向に回復していません。

「**慎重にしていて、何が悪い**」と言われそうですが、「Stay Home」は、特に高齢者に与えるダメージが大きいです。

1つは、心身の衰え（フレイル）です。活動制限により筋肉が衰え、歩行困難になる人が増えています。次に、社会的孤立です。孤独死する人が増え、特にオンラインで交流できない高齢者は、精神的な隔離状態に置かれます。3つめは、高齢者に限らず全世代的なメンタルヘルス（精神衛生）の悪化で、「コロナ鬱^{うつ}」ともいわれます。

会員の中には「**年会費を払い、イベントなどに出席しない休眠会員が多いのは、会としては喜ばしいことではないか**」という人がいますが、真逆です。イベント会場は最低限のスペースが必要ですし、謝礼も人数割りではありません（いわば、いずれも「固定費」です）。

「休眠会員」さんは、積極的にグループやサークルに入り、また本部主催の行事にも、積極的にご参加いただきたいです。それはご本人の活性化にも、当会の活性化にもつながります。

イベントなどに参加しないと、「**参加しても知らない人ばかり**」となります。それで、余計に参加しづらくなるという悪循環に陥ります。

これから、15周年記念行事も本格的に始まります。たくさんの行事に参加して、多くの仲間をお作りください。

会員の元気が、元気な会を作るのですから。

受賞

受賞・新聞連載・書籍・企画/提携事業
テレビ・ラジオ出演の15年の歩み。

受賞年	受賞内容	受賞者
2011年	第2回あしたのなら表彰（奈良県知事表彰）	鉄田憲男さん
2012年	友愛大賞・友愛賞（奈良ロータリークラブ）	当会
2013年	奈良SB（ソーシャルビジネス）大賞（奈良NPOセンターほか）	当会
2013年	第4回あしたのなら表彰（奈良県知事表彰）	吉田利明さん
2017年	地域再生大賞・優秀賞（全国の地方新聞・共同通信社）	当会
2017年	第8回あしたのなら表彰（奈良県知事表彰）	若林稔さん
2018年	第9回あしたのなら表彰（奈良県知事表彰）	木村三彦さん
2020年	第11回あしたのなら表彰（奈良県知事表彰）	松森重博さん
2022年	第13回あしたのなら表彰（奈良県知事表彰）	友松洋之子さん
2023年	第14回あしたのなら表彰（奈良県知事表彰）	松原純さん



第2回 鉄田憲男さん



第4回 吉田利明さん



第8回 若林稔さん



第9回 木村三彦さん



第11回 松森重博さん



第13回 友松洋之子さん



第14回 松原純さん

🌾 Nara観光コンシェルジュアワード 🌾

受賞年	受賞内容
2016年	第1回Nara観光コンシェルジュアワード 最優秀賞 友松洋之子さん 優秀賞 石田一雄さん、柏尾信尚さん
2017年	第2回Nara観光コンシェルジュアワード 最優秀賞 安井永さん 優秀賞 若林稔さん
2018年	第3回Nara観光コンシェルジュアワード 最優秀賞 露木基勝さん 優秀賞 松永佳緒莉さん
2019年	第4回Nara観光コンシェルジュアワード 最優秀賞 八尾鈴子さん 優秀賞 竹尾秀明さん、山崎愛子さん
2020年	第5回Nara観光コンシェルジュアワード 最優秀賞 松原純さん 優秀賞 倉本和也さん



第1回 友松洋之子さん



第4回 左から山崎愛子さん、八尾鈴子さん、竹尾秀明さん

🌾 書籍 🌾

発刊年	書籍
2014年	『奈良「地理・地名・地図」の謎』（監修） 実業之日本社
2016年	『奈良の「隠れ名所」』 同上
2019年	『奈良百寺巡礼』 京阪奈情報教育出版
2021年	『奈良万葉の旅百首』 同上
2023年	『増補改訂版 奈良「地理・地名・地図」の謎』（監修） 実業之日本社



新聞連載

掲載期間	掲載記事	掲載新聞
2012年10月6日～2015年3月28日	『なら再発見』	産経新聞奈良版
2017年1月12日～2019年3月28日	『ディスカバー！奈良』	毎日新聞奈良版
2019年4月4日～2021年3月25日	『やまと百寺参り』	同上
2021年4月1日～2022年4月7日	『かるたで知るなら』	同上
2022年4月14日～継続中	『やまとの神さま』	同上



テレビ・ラジオ出演

出演年	出演番組
2015年	近鉄ケーブルネットワーク (KCN) 『Kパラnext』 に出演
2019年	奈良テレビ放送『ゆうドキッ!』 に出演 ※P10参照
2023年	ならどっとFM『784WAVE』 に出演
2024年	FMまほろば『まほろば再発見』 に出演



ならどっとFMに出演中の西川年文さん



FMまほろばに出演中の大江弘幸さん

企画・提携事業

年度	事業内容
2011年	6月6日 奈良県立奈良朱雀高等学校と「学民連携協定」締結 8月8日 株式会社ワイズスタッフとコンテンツ提供や講師派遣に関し、連携協定締結
2012年	9月15日から2013年3月20日まで、奈良交通「奈良まほろばソムリエと行く」バスツアーの企画とガイド派遣（全12回） 9月29日 奈良まほろば館の「奈良まほろばソムリエ講座」に講師派遣開始 10月24日 クラブツーリズム奈良旅行センター主催の奈良検定受験対策講座（2級）を開催
2013年	1月6日 奈良交通「深イイ奈良旅」バスツアーにガイド派遣 4月20日～9月23日 奈良交通「奈良まほろばソムリエと歌って巡ろう！大和路・万葉の旅」バスツアーにガイド派遣（4回） 4月～2015年9月 エースJTBのバスツアー「まほろばソムリエと巡る～美仏に出会う旅～」にガイド派遣（74回） 9月29日 クラブツーリズム奈良旅行センター主催の奈良検定受験対策講座（1級）を開催 12月7日、8日 奈良交通「文楽ゆかりの地」をめぐるバスツアーにガイド派遣
2014年	3月15日～16日 「長谷寺・初瀬谷」の合宿（宿泊）研修会を開催 4月19日～2026年、NHK文化センターの現地講座（現地ウォーキング）にガイド派遣開始 5月11日～12月15日 天理市制60周年記念事業に、当会の「奈良まほろばソムリエと行く天理のいいところ再発見！バスツアー」が採用され、ガイド派遣（4回） 6月3日 奈良佐保短期大学と「連携に関する協定」を締結し、後期授業に講師を派遣（2025年度末に終了） 7月12日～9月10日 奈良交通「大和歴史紀行」にガイド派遣（3回） 9月24日 クラブツーリズム奈良旅行センター主催の奈良検定受験対策講座（ソムリエ級）を開催 12月 橿原市の「旅さらら（飛鳥・橿原観光ガイドブック）」制作に協力
2015年	4月から、川上村の「村おこし」に協力（観光振興やPRに関する助言、村民向けの歴史講演会への講師派遣など） 4月11日 奈良県立美術館特別展「奈良礼賛～岡倉天心、フェノロサが愛した近代美術と奈良の美～」に協力 5月22日 天理市「市民大学」で、講演「文学で知る！奈良の魅力」を実施 9月13日、12月5日 奈良交通「奈良大和路再発見バスツアー」にガイド派遣 10月16日、17日 西日本経済同友会のツアーでガイドを実施 10月17日、11月28日 奈良市男女共同参画センター「あすなら」が主催する講座に講師を派遣
2016年	1月30日～5月28日 クラブツーリズム奈良旅行センター「まほろばソムリエのヤマトロジーク講座」に講師派遣（5回） 2月10日、17日、25日 JTB西日本「おとなび」の日帰りバスツアー「古代ロマン 卑弥呼の大和～邪馬台国 畿内説」をガイド 4月 奈良シニア大学にて講座（授業）を開始、現在に至る 9月19日 当会5周年を記念し「湖北観音の里巡拝バスツアー」を実施（39人参加）

年度	事業内容
2017年	6月10日から16日間、「ムジークフェストなら」が開催され、県の要請により、のべ11ヵ所のべ17人によるミニ講話を実施
2018年	11月14日から橿原市で、橿原市観光ボランティアガイドの会の希望者を対象に、奈良検定2級 受験対策講座を実施（全3回）
2019年	12月7日 「令和記念」JR万葉まほろばウォーク」を開催（大会主催）。参加者数は過去最高の126人（うち大会から32人参加）
2020年	11月25日～26日 プレ10周年記念イベントとして、十津川村へのバスツアー開催 11月29日 文化資源活用補助金（県文化・教育・くらし創造部）採択事業として、「歩く・見る・学ぶ！『日本書紀』物語2020」を開催 12月6日 三菱UFJ銀行のリモート観光の実証実験に、ガイド協力
2021年	奈良商工会議所からの要請を受け、「奈良SDGs学び旅」（事務局＝株式会社学びの旅）に協力することに決定。研修は前年12月に始まり、ガイド派遣は2021年度下期以降 11月1日 大会で「寄付金取扱規定」を定め、募集開始。これまでに1,815,150円の募金をいただいた（2026年3月31日現在）
2022年	奈良商工会議所からの要請を受け、第15回奈良検定試験（同年3月13日実施）から、同事業へのサポートを開始 幻桃短歌会の機関誌『幻桃』（隔月刊、発行所＝岐阜県関市）に、大会の『奈良万葉の旅百首』をもとにした紀行文の連載がスタート（同年9月号～P15参照） 1月26日 奈良のタウン情報誌『ぱーぶる』とのコラボレーションを決定・開始 7月4日 王寺町と包括連携協定を締結（P14参照） 10月2日 上記協定に基づき、王寺町で「奈良検定2級受験講座」がスタート（1回2時間・全8回）
2024年	2月17日 王寺町との協定に基づき、クイズ大会「ゆきまるQ」の共催・協力がスタート 12月 「飛鳥・藤原まると博物館」検定の対策本として、大会ホームページに『ズバリ！飛鳥・藤原検定の要点整理』をアップロード
2025年	奈良佐保短期大学の閉校に伴い、後期授業「奈良の伝統行事」への講師派遣が同年度末で終了 7月 『奈良まほろばソムリエ検定 公式テキストブック』新版の制作を開始。大会会員のべ91人（編集委員14人、執筆者77人）が担当。監修は浮世博史さん（西大和学園社会科教諭）、出版社は、なら文化交流機構を予定。3年後の刊行が目標 10月19日 王寺町で「奈良ソムリエ講座」（一般向けの歴史講座 毎月第3日曜日）がスタート 当初は鉄田憲男専務理事、2026年10月からは、講演講座グループのメンバーが交代で担当 12月17日 大会独自に「SDGs再研修」を実施（座学および現地）、会員21人が参加

『ゆうドキッ!』 出演7年の歩み

◆放送内容

奈良テレビ放送の情報バラエティ番組『ゆうドキッ!』への当会会員の生出演は、2019年のデビューから7年目に突入しています。



2026年1月13日放送 中央が藤井哲子さん(当会会員)、その右が講師の旭堂南龍さん(同)

1. 数字で見えるこれまでの実績

2019年9月の初出演から現在(2026年3月31日時点)まで、当会が積み重ねてきた実績は以下の通りです。

- ◆総出演回数：約 280 回 ◆番組出演者数：会員 18 人
- ◆初回出演日：2019年9月30日(鉄田憲男さんによる「川上村のグルメ」紹介)

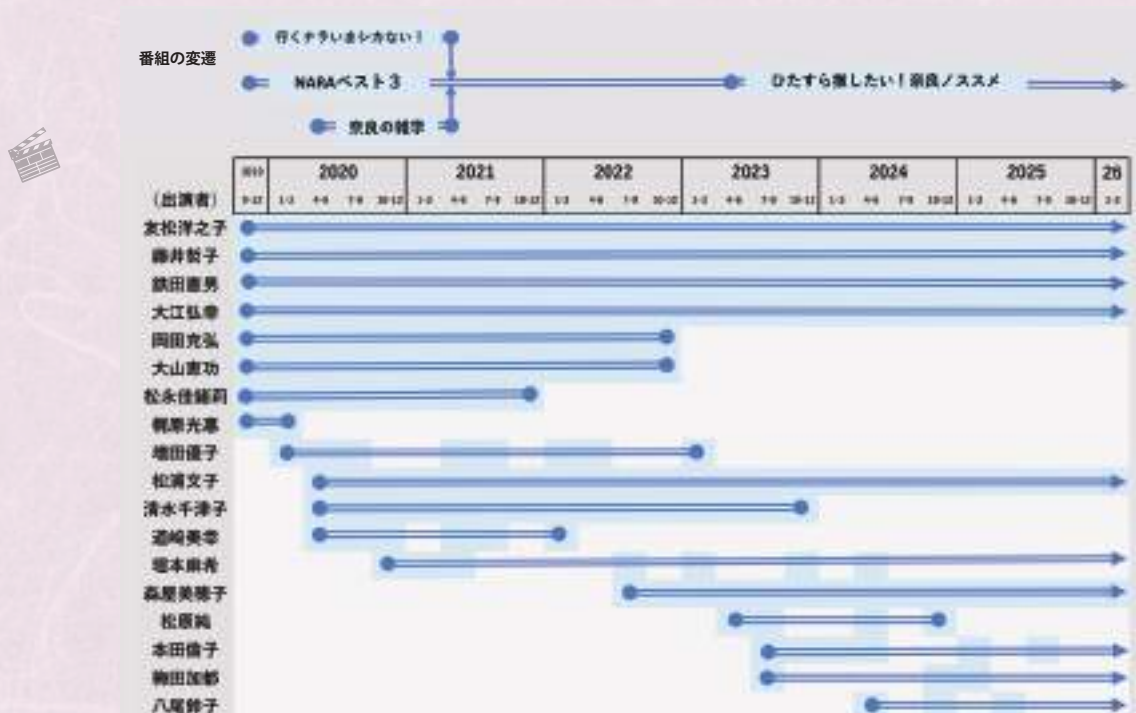
2. 番組内容の変遷と対応

社会情勢の変化や番組改編に合わせ、当会のコーナーも柔軟に形を変えながら継続してきました。

- ◆番組開始当初：月曜のグルメ紹介「NARA ベスト3」と木曜のお出かけ情報「行くナライマシカない!」の週2回体制、当会の企画案にロケ取材を交えるなど、多彩な番組作りが行われました。
- ◆コロナ禍の試行錯誤：ロケの困難や外出自粛を受けて「奈良の雑学」へのテーマ変更、スタジオ入室制限による電話での出演など、厳しい状況下でも放送は維持されました。
- ◆リニューアルと現在：2023年からは「ひたすら推したい! 奈良ノススメ」へと刷新、放送日時の変遷などを経て、現在は毎月第3木曜日のコーナーとして、奈良マニアの視点から深い知識を凝縮して届けています。

3. メディア発信を通じた社会貢献

番組への出演は、単なる情報提供にとどまりません。テレビという強力なメディアの発信力を活用し、「奈良の歴史・文化・観光の啓発と普及」という当会の目的を具現化する、大切な活動のひとつとなっています。今後も「奈良を楽しく、より豊かに、わかりやすく」という番組キャッチフレーズに寄り添い、奈良の文化振興に寄与し続けてまいります。表はこれまでの出演メンバーと番組コーナーの変遷です。多くの会員がそれぞれの専門知識を活かし、リレー形式で奈良の魅力を繋いできた足跡がご覧いただけます。



(『ゆうドキッ!』出演メンバー 大江弘幸)



さあ始まるぞ！

15年の歩み

2011年

2月5日から友の会設立準備。「奈良まほろばソムリエ」合格者の親睦を図るため、4月29日「奈良まほろばソムリエ友の会」を発足し、6月11日に発足の集い（総会）を開催しました。



6月11日発足の集い（総会）

懇親会（同日）



2012年

奈良交通とタイアップし、『古事記』をめぐるバスツアー」を企画（全6回）。



8月3日 奈良交通と合同記者会見



9月15日 第1回バスツアーを催行

2013年

2月6日NPO法人「奈良まほろばソムリエの会」発足（登記完了）。



5月5日 発足祝賀会の様子



10月14日 PowerPoint入門講座

2014年

3月10日 実業之日本社から『奈良「地理・地名・地図」の謎』（当会監修）が発行されました。



（左から）豊田理事、小北理事長（当時）、鉄田専務理事



6月29日 奈良のうまいものを極める会（春日大社）



順調！順調！

15年の歩み

2015年

保存継承グループが、市町村指定文化財の2015年度第1回調査として、大和郡山市を7月26日に実施。毎日新聞奈良版に掲載（7月30日）。



2016年

1月11日 第1回「Nara 観光コンシェルジュアワード」挑戦者の皆さん。左から田原敏明さん、石田一雄さん、雑賀耕三郎さん、柏尾信尚さん、友松洋子さん。



6月19日 総会・5周年記念祝賀会を開催、理事長は小北博孝さんから鈴木浩さんに交代。



5周年記念祝賀会

2017年

2月17日 「地域再生大賞」優秀賞を受賞。



3月18日 南都銀行西大寺銀行クラブで「第1回ふれあい交流会」（現在の「サロン・ド・ソムリエ」）開催。



経向学研究センター橋本輝彦主任研究員（当時）の講演「経向遺跡における調査・研究への取り組みとその成果」

2018年

1月17日 「奈良まほろばかるた」完成。



12月8日 5周年記念バスツアー実施、浄土寺、石の宝殿、五色塚古墳を訪問。



浄土寺本堂前（兵庫県小野市）



がんばっとるのぉ!

15年の歩み

2019年

7月15日 第3回ふれあい交流会に、「ならまち糞虫館」代表の中村圭一さんをお招きし、講演会を実施。



講演される中村圭一さん

9月30日奈良テレビ放送『ゆうドキッ!』への出演がスタート。



スタート当初の出演者たち

12月7日 奈良駅から巻向駅まで列車を借り切り、「JR万葉まほろばウォーク」を開催、過去最高の126人が参加。



JR万葉まほろばウォーク 狹井神社を参拝

2020年

11月25日～26日 プレ10周年記念「十津川村バスツアー」を開催。



十津川村 玉置神社参道

ガイドグループが「禁断の恋! 軽皇子と軽皇女」と題し、ゆかりの地を巡るウォークを11月29日に実施。



和田池廃寺跡をガイド

12月から「SDGs学び旅」に協力。



「SDGsガイド養成セミナー」フィールドワーク



コロナに負けるな!

15年の歩み

2021年

奈良まほろばソムリエ検定事業のサポート開始。奈良商工会議所と業務委託契約を締結し、検定試験運営支援に乗り出す。(同年1月の試験が中止となったため、具体的な支援は2022年3月13日からスタート)。



奈良まほろばソムリエ検定 2級試験の奈良会場の様子(2022年3月13日)

2月28日 『奈良万葉の旅百首』(京阪奈情報教育出版)を発刊。



『奈良万葉の旅百首』



10周年記念誌

県観光局の依頼により、安養寺(3/13～23)と不空院(4/25～5/9)で定点ガイドを実施。



不空院での定点ガイド

2022年



4月14日毎日新聞奈良版で、「やまとの神さま」連載開始
第1回は吉野水分神社

4月26日 保存継承グループが県指定文化財調査の結果を報道発表、あわせて県に提言書を提出。



報道発表(県庁内の文化教育記者クラブ)

7月4日に王寺町と「包括連携協定」、10月2日には王寺町で奈良検定2級受験講座開始。



7月14日王寺町役場にて 平井町長と豊田理事長



挑戦あるのみ!

15年の歩み

2023年

9月30日 奈良まほろばソムリエと巡る2023秋「うるわしの秋・大和路」がスタート!



11月4日「太子道と業平道」をガイド

広く全国に会員を持つ幻桃短歌会の機関誌『幻桃』（隔月刊）に「万葉歌をたどる奈良の旅」が好評連載中。



同誌11月号吉田誠治さんの連載（第7回）

2024年

2月17日「ゆきまるQ」（王寺町クイズ大会）に共催・協力スタート。



第4回「ゆきまるQ」サポートメンバー

4月1日開局の田原本町FM（FMまほろば）の「まほろば再発見」を番組提供、出演（月1回、本放送と再放送）。



FMまほろばに出演中のメンバーとMC

自主勉強会再開。再開1回目は10月14日、「飛鳥の仏たち」と題し、西光慎治さん（明日香村文化財課課長補佐・当時、文学博士）をお迎え。59名参加。



10月14日 西光慎治さんの講演



祝！15周年！

15年の歩み

2025年

保存継承グループの協力により、丹生川上神社中社の神像20体が、国の重文指定を受けた。



ロンドン・大英博物館に、日本を代表する神像彫刻として出陳された主祭神・ミズハノメノカミ坐像

5月20日～26日、唐招提寺の子院・西方院^{さいほう}の特別公開に、ガイド協力。



3月13日説明会 西方院境内で、石田太一副住職の説明を聞く

飛鳥・藤原まると博物館検定受検支援講座スタート（公民館講座サークル）。



8月2日 飛鳥・藤原まると博物館検定受検支援講座

6月21日 第1回編集委員会を開催し、新『奈良まほろばソムリエ検定公式テキストブック』制作がスタート。



6月21日 第1回編集委員会



8月30日 新テキスト執筆者打ち合わせ会
中南和の寺院担当チーム

2011年11月18日に会報紙「ソムリエの風」を創刊。2023年11月13日付からWEB化、2026年2月1日に第50号を発刊。

50号 令和8年（2026年）2月1日

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙



会報紙「ソムリエの風」第50号のトップページ

ガイドグループ

◆ガイドグループとは

ガイドグループは、奈良の良さ・素晴らしさをガイドを通して広く伝え、奈良の文化・観光の振興に貢献しています。一般旅行者向けのほか、奈良シニア大学、NHK文化センター、王寺町歴史教室などから定期的に受託するほか、旅行事業者からの受託、さらにガイドグループが主催する「募集ガイド」も行い、年間延べ約5千人の顧客を案内しています。



桜のトンネルを抜けて案内



紅葉の中でスタート前の打ち合わせ

10年間の活動ダイジェスト

ガイドグループは、ソムリエの会発足とほぼ同時に活動を開始しました。顧客数は順調に増加して8年目には現在と同水準の年間5千人近くに達しました。しかし2019年度末からのコロナ禍により大打撃を受け、翌年度には約1,800人まで激減しましたが、その後順調に回復しました。10年間で部員数は約60人に達し、その技量を高めるための研修や情報管理、顧客受入体制、更にはホームページでのPRなどの工夫をこらし、運営体制全般の充実を図りました。

2021年～2025年の活動

2021年～2022年

2021年は奈良検定中止の影響で、新入部員はゼロ。コロナ禍の影響は引続き強く、年度前半はガイド受付中止、募集ガイドや恒例の奈良県観光ボランティアガイド連絡会も、中止となりました。

年度後半には緩和され、反動で案内客数も伸びましたが、マスク着用・検温などの対応は続けました。

2022年には、奈良検定が再開され、新入部員18人が入部。従来のマンツーマンの研修が難しく、体制を見直し、班編成で各エリアを回り実地研修する方式としました。コロナ禍の反動か、特に「募集ガイド」に申込みが殺到したため、募集定員を増やしました。

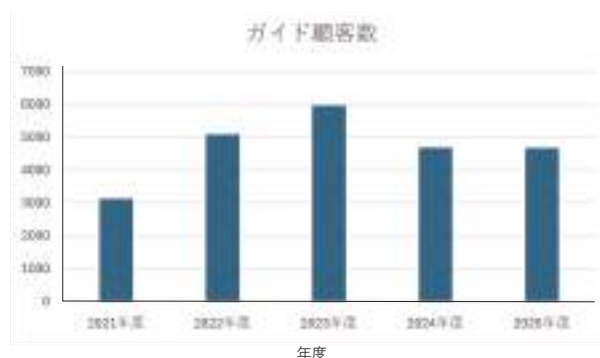
2023年～2024年

2023年は新入部員33人とかつてない数の入部があり、部員数は100人を超え、2年生以下で部員全体の約半数を占めました。研修は前年構築した方式を拡充して行いました。

2024年12月に「奈良県観光ボランティアガイド連絡会」研修会を担当し、講演会には約290人、エクスカッションには200人を超す参加がありました。

2025年

近年は、6月～9月の猛暑期は活動を控えていますが、ガイド機会確保のためモデルコースを活用した「募集ガイド」の拡充を行っています。



直近5年間のガイド顧客数

(ガイドグループ 三宅努)

保存継承グループ

◆ 保存継承グループとは

保存継承グループは、①奈良の社寺・史跡等の保存・美化に関する活動 ②地域の伝統行事継承等の支援活動 を行うために「文化財調査」「祭礼見学」「社寺美化奉仕」を三本柱として、2013年から活動しています。また、意見交換の場の定例会（月1回）は、130回を超えました。現在約30人のメンバーで、三本柱の活動を進めています。



2025年『私の推し』のプレゼン大会に参加した保存継承グループのメンバー



2024年1月14日 茅原のトンド

10年間の活動ダイジェスト

文化財調査は3回実施し①市町村指定建造物 ②市町村指定史跡・名勝・天然記念物・有形民俗文化財 ③県指定建造物・彫刻 を調査しました。また、国栖奏、十津川の大踊りなど47件の祭礼見学、秋篠寺など11カ所の美化奉仕（延べ18回、延べ364人参加）を実施しました。

①の文化財調査で訪問した丹生川上神社中社からの神像の県指定格上げ要請に協力した結果、2019年に県文化財に指定。さらに2023年に国の重要文化財に指定されました。

2021年～2025年の活動

2019年から2021年にかけて県指定の史跡・名勝・天然記念物・有形民俗文化財（計130件）を調査し、2022年に対応する必要があるものを「提言書」として県に提出しました。さらに、2023年から2024年の2年間に市町村指定の建造物・彫刻（約200件）を調査し、『私の推し』のプレゼン大会で発表するとともに、報道発表して毎日新聞に掲載されました。

また、保存活動の勉強のため2023年に奈良市消防局で防災講習会を開催（22人参加）し、春日大社桂昌殿の取材時には柿葺き屋根の全面葺き替え工事の現場を見学しました。



2023年4月23日 美化奉仕活動・等彌神社



2025年7月7日
金峯山寺蓮華会・蛙飛び行事



2025年11月15日
美化奉仕活動・長弓寺

年度	祭礼見学 (17件 延べ125人参加)	美化奉仕 (9件 延べ165人参加)
2021年	陀々堂の鬼はしり	多神社
2022年	東佐味六斎念仏 墨坂神社秋季大祭 廣瀬神社砂かけ祭など	きちでん じ 吉田寺
2023年	常解子安地藏会式 題目立 茅原のトンド 田原おんだ祭	等彌神社 本薬師寺跡
2024年	大和神社紅しで踊り 長岳寺節会（大綱掛け行事）	天神社（大和高田市） 薬園八幡神社
2025年	在原神社業平祭 率川神社三枝祭 金峯山寺蛙飛び行事など	璉城寺 秦楽寺 長弓寺

（保存継承グループ 本井良明）

講演講座グループ 公民館講座サークル

◆ 公民館講座サークルとは

奈良の歴史や文化を発信するため、2時間にわたり少し深い内容を取り上げる奈良市中部公民館講座や、1時間ずつ身近な奈良の話題などを語る奈良市西部公民館講座を開催しています。

また奈良まほろばソムリエ検定（奈良検定）（ソムリエ・1級・2級）や飛鳥・藤原まると博物館検定（初級）を受検される方を対象に、過去の出題傾向を踏まえた問題解説や、公式テキストをもとにした丁寧な解説を行う、支援講座を開催しています。



公民館講座サークルのメンバー



特別講座（ウォーキング）

10年間の活動ダイジェスト

知的好奇心を刺激し、奈良の歴史や文化を身近に感じていただくために、多彩な講座を開催しました。奈良市中部公民館や西部公民館の「奈良をもっと楽しむ講座」や交流と自己研鑽の「若草サロン講座」は、それぞれ月1回開催しました。各種検定の支援講座は毎年5月から翌年1月にかけて月2回ずつ開催し、特に奈良まほろばソムリエ検定講座の最終月にはソムリエ・1級受験者向けに特別講座を開催し、実地での対策も行いました。

2021年～2025年の活動

この5年間も各公民館講座や受験支援講座を充実させてきました。

コロナ禍により一時的な休止はあったものの、2022年には王寺町と連携協定を締結し、協力体制を築きながら奈良検定2級受験支援講座を新たに開講しました。また2025年には橿原市にて飛鳥・藤原まると博物館検定の初級受験支援講座をスタートしました。2026年以降も、さらに多くの地域で講座を展開していく予定です。



奈良をもっと楽しむ講座



飛鳥・藤原まると博物館検定 受験支援講座

※活動件数（件）

年度	奈良市 中部 公民館 講座	奈良市 西部 公民館 講座	若草サロン 活動	受験 支援 講座	王寺町2級 受験 支援 講座	飛鳥・藤原まると 博物館検定 初級受験 支援講座
2021	10	10	5	17	—	—
2022	12	12	7	16	8	—
2023	11	12	7	16	8	—
2024	10	12	7	16	8	—
2025	9	12	5	16	8	6

（講演講座グループ 公民館講座サークル 吉田 雅幸）

講演講座グループ 受託講座サークル

◆ 受託講座サークルとは

2023年に講演講座グループを「公民館講座サークル」と「受託講座サークル」に分けました。その2つのサークルのうち、ソムリエの会以外の団体等からの依頼を受けて、外部講座に講師を派遣することで、奈良の文化・観光の振興に貢献することを目的として活動しているのが受託講座サークルです。現在講師登録済みのメンバー 76人で運営しています。



2025年6月26日 講演会（奈良シニア大学）

サークル発足後の活動（2023年～2025年）

現在の派遣先としては、以下に記載した講師活動を実施中。

講師派遣先	講座ジャンル	活動回数
1 奈良まほろば館（東京・新橋）	歴史講座	12日（午前・午後の1日2回）／年 90分講座
2 奈良シニア大学（奈良市・橿原市）	史跡探訪部／奈良探求部	61回／年 90分講座
3 JEUGIAカルチャーセンター（イオン高の原）	歴史講座	12回／年 120分講座
4 川西市歴史研究会（兵庫県）	歴史講座	3回／年 90分講座
5 ならどっとFM「784WAVE」	奈良学校コーナー	毎週月曜日 17時から30分
6 河合町生涯学習課	歴史講座	座学3回・現地講座1回／年 90分講座

東京の講座では、熱心な奈良ファンが多くいらっしゃるため奈良県およびソムリエの会をアピールするには絶好の機会となり、講座を聴いた後に奈良を訪れる方も沢山いらっしゃることで、奈良への誘客にも貢献しています。

また、ならどっとFMでは、リスナーの皆さまに向けて奈良の史跡・名所を紹介し、おしゃべりを聞きながら、楽しく学んでいただいています。人気の3択クイズでは、現在週替わりで担当している3人の個性がよく表れ、クイズに参加していただくリスナーも増えてきました。インターネットで番組を聴取できるため、関東や中部地方のリスナーも多くいらっしゃいます。

奈良市の西部公民館や奈良ホテル等からも不定期ながらご依頼をいただき、継続して講師の派遣依頼をしていただける先も年々増加してきました。奈良の魅力を沢山の方に知っていただくとともに、多くの方に奈良に足を運んでいただけるよう、情報を発信し続けています。

今後も講師の皆さんに活躍の場を設け、講座経験を積んでいただき、スキルを磨いていただいた上で、質の高い講座を提供し続けることで、クライアントの期待にお応えできるよう、活動を続けて参ります。



2025年5月26日放送
「784WAVE」（ならどっとFM）



2026年1月11日 奈良まほろば館講演（東京・新橋）

（講演講座グループ 受託講座サークル 西川年文）

啓発交流グループ 啓発サークル

◆ 啓発サークルとは

啓発サークルは、奈良まほろばソムリエの会発足直後の「啓発グループ」が前身で、15年の歴史を持ちますが、現在は啓発交流グループ傘下に組織化されています。

啓発サークルとしては、大きく「自主勉強会」と、「奈良のうまいものを極める会・酒蔵見学」の二つの活動を行っています。

自主勉強会

自主勉強会の主な目的は、ガイドや講演講座でのアウトプットのための知識などを得ることにあります。ガイドグループや講演講座グループ所属の会員をはじめ会員諸氏はいろんな時・場所でそれぞれの知見や個性を活かし、ガイドや講演を行っています。それらを実行するには予備知識が必要です。

図書館や博物館・美術館で書籍や展示品、映像で得られることは多いですが、ここでもう一つ肉声で「専門家の話を聴く」ことを重要課題として、自主勉強会に取り組んでいます。

専門家の講演で多くの知見を得るに越したことはないのですが、たとえ一つだけでも自身のものとできればいいとの考えを基本に、活動しています。



2025年9月13日 『日本霊異記』にみる神仏習合
(薬師寺主事 高次喜勝師)

奈良のうまいものを極める会・酒蔵見学

「奈良にうまいものなし」との誤解が独り歩きしているのを払拭すべく、「奈良はうまいものばかり」を合言葉に、名店を訪ねての「奈良のうまいものを極める会」、清酒発祥の地・奈良の地酒を味わう「酒蔵見学」と試飲会を行っています。奈良を訪れる方に名店を紹介できるよう、会員向けの知識提供の目的も持っています。

10年間のダイジェスト

発足後の10年間、啓発グループは当初「奈良文化発信隊」として活動し、故大山恵功理事のもと「自主勉強会」「セミナー・講演会」や「奈良まほろばソムリエ検定」の受験者への支援活動、また「講師養成講座」や「奈良まほろばかるたの制作と普及活動」を実施してきました。

2024～2025年の活動

コロナ禍で対象を旧啓発グループ員に限定していた時期を経て、「自主勉強会」は全会員を対象に2024年10月より再スタートし、2026年3月までに合計15回講座を実施することができました。

また、「奈良のうまいものを極める会・酒蔵見学」は、2025年2月から再開し2026年3月までに4回開催することができました。

再開後の活動は、まだまだ認知度が低いですが、今後少しずつ浸透をはかり、世話役一同多くの会員の皆さんに参加いただけるよう、目的に向かって邁進していきます。



2025年2月1日 辻甚でのランチ会

(啓発サークル 自主勉強会：柏尾信尚／奈良のうまいものを極める会・酒蔵見学：葛本雅則・西橋奈穂)

自主勉強会

(肩書は当時・敬称略)

年	主 な 内 容			
2011年 ～ 2023年	『万葉集』勉強会(4回)、「天誅組」勉強会(4回)、「奈良の食」(3回)、「記紀を愉しむ」(10回)、「会津八一と奈良」(3回)、「万葉文化館万葉講座」(3回)、「奈良の名句」(4回)、「大和から見る神と神社の謎」(4回)、「奈良と薬」(3回)、「樹下山人～前登志夫の世界」(4回)、「飛鳥を考える」(4回)、「安堵を考える」(3回)、サンスクリット語講座(4回)等			
年・月・日	演 題	講 師	会 場	参加人数
2024年 10月14日	「飛鳥・藤原」世界遺産国内候補推薦記念 「飛鳥の仏たち 川原寺と川原寺裏山遺跡 －発掘50年－」	明日香村文化財課課長補佐 (文学博士) 西光慎治	南都商事 セミナールーム	59人
11月23日	「飛鳥の終末期古墳を考える」	同上	南都銀行 西大寺銀行クラブ	34人
2025年 1月13日	「山の辺の道への誘客」	奈良県観光局ならの観光力向上課 山裕成	同上	24人
2月 9日	奈良観光を考える 「これからの奈良観光①～」	南都経済研究所 主席研究員 丸尾尚史	同上	24人
3月 9日	奈良観光を考える 「これからの奈良観光②～」	同上	同上	21人
4月19日	万葉集をよむ 「一あおによし奈良の都一」	奈良大学文学部准教授 (文学博士) 鈴木喬	同上	23人
5月18日	万葉集をよむ「一香具山の歌一」	同上	同上	20人
6月15日	平群の工房において 仏師の指導のもと仏像を彫る実体験	奈良仏師 折上稔史	平群の工房	7人
7月19日	薬師寺はオンリーワンの宝庫	薬師寺主事・京都橘大学 客員教授 高次喜勝	南都商事 セミナールーム	55人
9月13日	『日本霊異記』にみる神仏習合	同上	同上	51人
10月19日	奈良時代創建の東大寺七重の塔の復元	奈良文化財研究所 研究員 目黒新悟	南都銀行 西大寺銀行クラブ	25人
11月 9日	興福寺東金堂院の発掘調査と南都焼討	同上	同上	27人
12月 7日	奈良にも戦争があった ～どんづる峯の地下壕～	「NPO法人 平和のための香芝戦争展」 事務局 西嶋拓郎	同上	20人
2026年 2月 8日	仏像を守り伝えるために 一観仏三昧のススメー	奈良大学文学部教授 (文学博士) 大河内智之	同上	38人
3月29日	「神君伊賀越え」 実は奈良経由	歴史作家 上島秀友	同上	21人

奈良のうまいものを極める会・酒蔵見学

年	カテゴリー	主な開催内容	
2011年 ～ 2024年	奈良のうまいものを 極める会	奈良町「旬彩ひより」、薬師寺「アムリット」、春日大社での饗膳の食事会 「奈良のうまいものブラザ」で「奈良の食材を使ったおいしい料理」、 片上裕之氏(御所市・片上醤油)による講話と食事会、「柿の葉ずしを極める」、 明日香村「めんどや」、奈良のうまいもの食事会(井上)、 桜井市「一語一笑」、今井町講話のあとの新作料理食事会	
2011年～ 2024年	酒蔵見学	美吉野醸造(花巴)、喜多酒造(御代菊)、大倉本家(金鼓)、中本酒造(山鶴)、 梅乃宿酒造(梅乃宿)	
年・月・日	訪問地	内容	参加人数
2025年 2月 1日	ヴェルデ辻甚 (大和高田市)	日本庭園の美しい老舗フレンチレストラン「ヴェルデ辻甚」でのランチ会。 食事後は、「高田御坊」専立寺を拝観	29人
10月13日	Le BENKEI (大和郡山市)	創業50周年を迎えるフレンチの名店「ル・ベンケイ」にてランチ会。オー ナーからの豊臣秀長ゆかりの大和郡山についてのお話を聞き、食事後に郡 山城を散策	19人
2025年 3月22日	喜多酒造 (橿原市)	「御代菊」ブランドで有名な喜多酒造の酒蔵見学。その後、酒蔵直営店 である橿原神宮前駅ナカ「みよきく」にてランチ会	18人
2026年 2月21日	大倉本家 (香芝市)	日々斬新なアイデアで酒造りを発展させている「大倉本家」を見学。直営 アンテナショップ「大倉本家エキマエノミセ」に場所を移し、ランチタイ ム交流会	14人

啓発交流グループ 女性サークル

◆ 女性サークルとは

2014年9月女性有志28人により「女性グループ」として活動がスタートしました。会員が自主的にアイデアを出し合い、史跡散策にプラスαのグルメランチなど「女性ならではの」感性を活かした活動をめざして、現在は、「親睦交流行事」「体験学習教室」「奈良まほろばかるた大会」を大きな柱にさまざまな企画を立案し実施しています。

知的で陽気でポジティブ、そして、チームワークがモットーのサークルです。

発足後5年間の活動ダイジェスト

「親睦交流行事」を通じて、多くの会員の皆さんと楽しく交流を深め、より深く奈良を知る活動をしてきました。女性サークル独自の活動としては、夏休みや春休みを利用した小学生向けの「体験学習教室」を実施し、本物の文化財に触れる体験型学習により、子どもたちに奈良の魅力を伝えてきました。また、「奈良まほろばかるた大会」はさまざまな会場で開催し、多くの子どもたちに奈良の自然、歴史、文化などを伝える機会となっています。

2021年～2025年の活動

2021年から2025年の5年間も小学生向けの「家族体験教室」・「奈良まほろばかるた大会」・「親睦交流活動」を軸に、活動を継続しています。「コンニャク作り」や「写経体験」、「サンスクリット語講座」、「出雲人形作り」は新しい試みとして企画したものです。

また、かるた大会のスキル向上のため、かるたの読み手と審判の講習を行い、かるたの普及とサークルメンバー1人ひとりのスキルアップに努めています。

活動回数

年度	体験学習教室	かるた大会	親睦交流活動
2021		1	2
2022			3
2023		1	6
2024	1	3	5
2025	1		3



2015年 2月15日 丹生川上神社上社参拝



かるた大会



2023年 7月28日 草木染め



2023年10月6日 サンスクリット語を勉強中

2021年～2025年の活動

年・月・日	活動場所	活動内容
2021年8月1日	松浦文子さん宅（宇陀市大宇陀）	草木染め体験とコンニャク作り
2021年10月30日	奈良公園・ならまち糞虫館	糞虫観察とならまち糞虫館
2022年1月13日	奈良市京西公民館	はつらつシニア会でのかるた大会
2022年9月10日	松浦文子さん宅	草木染め体験
2022年9月27日	香芝市南部	源信の里を散策
2022年11月29日	聖林寺と等彌神社	参拝
2023年5月29日	霊山寺	参拝と写経・ランチ・バラ園の散策
2023年6月17日	水泥古墳	水泥伝説と古民家カフェ
2023年7月29日	松浦文子さん宅	草木染め体験
2023年8月20日	猿沢イン	ならまち遊歩かるた大会
2023年9月3日	安堵町	安堵町灯芯ひき体験・うぶすなの郷ランチ
2023年10月6日	五劫院	サンスクリット語講座
2024年1月27日	KIYAMURA・十二柱神社公民館	新春ランチ会と出雲人形の絵付け
2024年4月30日	丸国林業保養所	かるた大会審判員講習と読みの練習
2024年5月15日	帯解小学校	かるた大会
2024年7月28日	松浦文子さん宅	草木染め体験
2024年8月4日	歴史に憩う橿原市博物館	夏休み小学生への啓発事業かるた大会
2024年8月25日	奈良町物語館	ならまち遊歩かるた大会
2024年10月3日	石上神宮	なら歴史芸術文化村訪問と石上神宮
2024年11月13日	帯解小学校	かるた大会
2025年2月19日	南都銀行西大寺銀行クラブ	サンスクリット語講座
2025年3月5日	丸国林業保養所	かるた大会審判員講習と読みの練習・春日奥山ハイキング
2025年5月14日	當麻寺 中之坊	写仏と写経
2025年7月27日	松浦文子さん宅	草木染め体験
2025年8月2日	歴史に憩う橿原市博物館	土器の接合
2025年10月17日	川西文化会館	お能ワークショップ



2021年8月1日 草木染めに参加した
女性サークルのメンバー



2024年1月27日 出雲人形制作体験

（女性サークル 本田倫子）

啓発交流グループ かるた普及サークル

◆ かるた普及サークルとは

かるた普及サークルは、2025年6月に発足したサークルで、啓発交流グループの傘下で組織化されました。現在の会員数は18人です。

その前身は、旧啓発グループが米谷潔さんを中心に10数人で制作された「奈良まほろばかるた」（2018年制作）を活用し、普及活動を展開していたものです。制作された「奈良まほろばかるた」には、奈良の自然・歴史・文化などをかるた文にして、「子供たちに奈良に親しみを感じてもらい、その思いを次世代まで受け継いでほしい」という強い願いが込められています。

このかるたの具体的な普及活動を継続して担っているのが現在のかるた普及サークルです。活動には、女性サークルの協力も得ています。

2021年以降の活動

2021年以降は、女性サークルの活動として毎年3～4回「かるた大会」を実施し、普及に努めてきました。現在は、かるた普及サークルとして帯解小学校の放課後こども教室、歴史に憩う橿原市博物館、五劫院（奈良市）などで「かるた大会」を開催しています。

最近では「ゆきまるQ」（王寺町クイズ大会）でも『奈良まほろばかるた』からの出題があり、学生や社会人にも層を広げています。



五劫院かるた大会



帯解小学校かるた大会

2025年6月のサークル発足以降の活動実績

年・月・日	活動場所	活動内容
2025年 7月23日	五劫院	かるた大会
2025年 8月 2日	歴史に憩う橿原市博物館	かるた大会
2025年10月29日	帯解小学校	かるた大会

（※ 2025年6月以前の活動はP23を参照）



「すいかのたね」のかるた札



2025年3月5日 かるた大会審判員講習会

（かるた普及サークル 平越真澄）

啓発交流グループ 史跡探訪サークル

◆ 史跡探訪サークルとは

史跡探訪サークルは、メンバーと名所や史跡などを訪れ知識を共有化すること、参加者間の親睦・交流を図ることをめざすサークルです。せっかく苦勞して取得したソムリエ資格、書籍で得た知識を現地に実際に行って確認してみたい、趣味や話の合う仲間と時々は楽しく親睦・交流をしたいという方々も多く、フレンドリーに活動を行っています。

10年間の活動ダイジェスト

発足当初は、交流グループとして社寺探訪サークル、歴史地理サークル、奈良再発見サークルの3サークルでスタート、2011年10月に第1回活動を開始したのが始まりです。

2013年、社寺探訪サークルを歴史地理サークルに吸収、さらに奈良再発見サークルも統合し、その後交流グループは解散、歴史地理サークルも史跡探訪サークルと改名し、歴史探訪グループへ編入されました。以後歴史探訪グループ史跡探訪サークルとして活動を続け、現在は、啓発交流グループ史跡探訪サークルとして活動しています。

2021年～2025年の活動

2021年～2022年

3年を超えるコロナ禍、サークル活動運営メンバーの事情で、活動は、ほぼ休止状態となっていました。

運営メンバーの確保が出来、徐々に活動を再開。2022年11月に「ならきたまち散策」の実施にこぎ着け、活動休止期間後最初の開催、感激もひとしおです。

2023年～2024年

年間活動を2回程度とすることで、世話役の負担を軽減。「宇陀松山散策と大願寺薬膳料理」、「天理周辺の史跡と天理古墳群を楽しむ」を開催。皆さんに楽しんでもらえた一年間の活動でした。

過去2年間の活動で、少しは自信もでき、地元奈良ならではの「東大寺修二会聴聞」を計画、予期せぬ申込が殺到し、断腸の思いで申込みをストップする状況に。連綿と続く伝統行事には頭が下がります。

2025年

3月「東大寺修二会聴聞」については、前年の反省も受け、慎重な計画のもと実施。今回も大盛況。5月には、奈良国立博物館で開催された「超国宝展」にコラボしたコースも催行しました。



2022年11月 五劫院



2023年3月 宇陀市阿騎野・人麻呂公園



2024年6月 矢田寺



2025年5月 瑜伽山園地
(旧山口氏南都別邸庭園) 訪問

(史跡探訪サークル 石川雅司)

啓発交流グループ 関東サークル

◆ 関東サークルとは

関東在住の会員で構成される「関東サークル」（関東グループ）は、2011年7月に東京の奈良まほろば館で産声を上げました。以来、「奈良と関東のつながりを探訪する」をメインテーマに掲げ、関東各地の国府・国分寺、古墳、古刹などを巡る活動を続けています。毎年、新たにソムリエの会へ入会された関東在住の仲間を迎え、現在のメンバーは19人（2026年3月末）となっています。

記憶に残る探訪の記録

歴史の深層に触れる多様なツアーを実施してきました。2019年6月の群馬探訪では、本尊が古墳の石室という安楽寺や、現地ガイドの解説が充実していた綿貫観音山古墳を巡り、その規模と精緻な石室構造に圧倒されました。また、2020年2月には鎌倉検定1級保持者の先導による「鎌倉ウォーキング」を行い、北鎌倉から鎌倉駅までの寺院跡を巡りながら、中世の歴史に思いを馳せました。

2025年最新活動：世田谷に「奈良」を探して

コロナ禍による停滞期を経て、2025年4月12日には「五劫思惟阿弥陀仏坐像をめざして世田谷を歩く」と題したウォーキングを開催しました。上野毛駅を出発し、国分寺崖線に沿って歩を進めると、そこには驚くほど豊かな奈良との接点が点在していました。

- ・野毛大塚古墳：その特異な墳形や副葬品から、古市・百舌鳥古墳群など畿内王権との深い関わりが指摘されています。
- ・等々力不動尊：今の御所市が生誕地とされる役行者が、間接的に創建に関わったとの伝承が残ります。
- ・尾山台宇佐神社：源頼義が奥州平定の報謝として創建。東大寺大仏建立を助けた宇佐神宮との繋がりを感ぜさせる社名が興味を引きました。

旅の終着点である九品仏浄真寺では、奈良の五劫院などにも安置されている「アフロの仏さま」こと五劫思惟阿弥陀仏を拝観。さらに、浄瑠璃寺を上回る規模を誇る9体の丈六阿弥陀仏像を前に、改めてその迫力に目を見張りました。

関東の地にあっても、一步踏み出せば至る所に奈良の面影を見出すことができます。今後も、ソムリエの会のセミナーなどへの支援活動（会場設営・受付等）を通じ、関東の方々に奈良の魅力を発信し続けてまいります。



2026年2月1日 奈良まほろば館（東京・新橋）講演を支援



2025年4月12日 世田谷ウォーク参加メンバー

（広報グループ編）

奈良検定支援グループ

◆ 奈良検定支援グループとは

奈良検定支援グループは、2022年にグループ化された比較的新しい活動グループです。

会員の皆さんの多くが受験された奈良まほろばソムリエ検定（奈良検定）は2007年1月の第1回検定試験以来、奈良商工会議所により毎年実施されてきましたが、受験者数の減少やコロナ禍の影響などにより検定を取り巻く環境も変化し、その運営にも年々厳しさが増してきました。

そんな中、当会は奈良商工会議所からの要請に基づき、2021年に業務委託契約を締結し、試験運営の支援に乗り出しました。

その手始めに当会会員に対する公募により、第15回検定試験（2022年3月実施）の支援を行い、その実績を踏まえて継続的な支援を行うために、「奈良検定支援グループ」として創設いたしました。



2025年3月2日 奈良検定支援グループ（奈良会場）

2022年～2025年の活動

主として、試験会場の運営を担っています。

試験会場の運営支援

会場内の誘導・案内、会場設営、問題用紙配布、試験監督、答案回収・確認、会場復旧など（奈良会場・東京会場）、シャトルバス発着場での誘導・案内（奈良会場）など。

奈良検定支援グループは当会の新会員を永続的に生み出すための中核的活動で、その運営ノウハウと動員力が求められる重要なグループです。会場運営支援は、グループに登録いただいた皆さんへの毎年の公募でメンバーを選任します。試験期間だけの活動機会ですから、年間を通じた活動が困難な方でも、参加していただきやすいグループです。



同日 2級試験会場（同）

奈良検定支援活動

回	年	実施日	奈良会場	スタッフ数	東京会場	スタッフ数	受験者数			
							ソムリエ	1級	2級	総受験者数
15	2022	3月13日	天理大学	16	赤坂スターゲートプラザ	4	146	207	531	884
16	2023	3月5日	天理大学	16	赤坂スターゲートプラザ	3	159	320	464	943
17	2024	3月3日	天理大学	13	赤坂スターゲートプラザ	3	128	300	435	863
18	2025	3月2日	天理大学	13	赤坂スターゲートプラザ	3	144	329	421	894
19	2026	3月8日	天理大学	13	赤坂スターゲートプラザ	3	163	308	378	849

（奈良検定支援グループ 大江弘幸）

定点ガイドグループ

◆ 定点ガイドグループとは

「定点ガイド」とは、観光ボランティアガイドの中でも、「ガイドする場所」を1つの寺院、1つの神社のように固定し、そこに拝観に来られる方をガイドする、というものです。

当会の「ガイドグループ」のようなウオーキング・ガイドではありませんので、「奈良まほろばソムリエ」資格も、必要ありません。

これまで、定点ガイドの依頼は、県観光局からスポット的にいただき、全会員に対しメールでガイドを募集してまいりました。

過去には西方院（唐招提寺子院）、安養寺（磯城郡田原本町）、當麻寺東西両塔などをガイドしました。今は年2回、不空院（奈良市高畑町）から定期的にガイドの依頼をいただいています。

定点ガイドグループは、2025年度に発足したばかりの新しいグループで、まだメンバー数は少ないため、当面は全会員にガイドの募集をかけていますが、いずれはメンバーを固定したいと考えています。

またあわせて、奈良商工会議所などが主催する「SDGs学び旅」のガイドも、養成してまいります。

（専務理事 鉄田憲男）

◆ サロン・ド・ソムリエとは

2017年（平成29年）から2年間、「ふれあい交流会」の名前で、メンバーを固定せず、都度、全会員から参加者を募集する形の「ミニ講演会」を3回、開催してまいりました。

参加者から「講演会のあと懇親会を開催しては」との提案をいただき、コロナ禍の収束を見極めてスタートしたのが「サロン・ド・ソムリエ」です。

2023年（令和5年）9月にスタートし、隔月（奇数月）開催しています。講師は当会会員が務め、約60分の講話のあと、懇親会を開催しています。

講演の参加は無料、懇親会は@3,000円です。おかげさまで順調に推移しています。

（専務理事 鉄田憲男）



2025年3月13日 西方院での説明会



2026年4月12日 不空院での説明会



2024年11月4日 サロン・ド・ソムリエ講演会



2023年9月16日 サロン・ド・ソムリエ懇親会

広報グループ

◆広報グループとは

広報グループは2011年、「奈良まほろばソムリエ友の会」発足とともに活動が始まり、2013年にNPO法人となってもとぎれることなく、活動を実施してまいりました。

県内外の方々や奈良まほろばソムリエの会会員の皆さんへの情報発信をベースに、広く当会の認知度、存在価値を高めていくことを目的としています。

これまでの活動

会報紙の発行

活動のベースは、会報紙「ソムリエの風」の編集・発行です。会報紙は2011年11月18日の創刊号にはじまり、2026年2月1日に50号を数えました。

会報紙は当初A4判で4～8ページの紙媒体としてスタートし、編集メンバーや執筆者が数ある情報をコンパクトに収めるべく四苦八苦しながら編集していましたが、41号（2023年11月13日発行）からはWeb化を行い、編集作業の効率化や情報量増大への対応を図ってきました。

ホームページの運営

2つ目の大きな軸は、ホームページによる情報発信です。会報紙と比べ、こちらはタイムリーな情報発信を担っており、新鮮さが重要です。会員の皆さんが活躍されているニュース的な情報や、発表資料、新聞掲載記事、各種受け付け等を扱っています。

立ち上げ時は、ITの専門スキルを有する編集メンバーが担当していましたが、いまや誰でもが編集できるしぐみに切替え、効率化を図っています（とは言うものの、やはり最低限のIT知識・リテラシーは必要です）。

シリーズとして掲載している主なコンテンツは

1. つれづれ日記（各グループ・サークルの活動紹介）
2. まほろば歳時記（奈良の歳時記を月1回で掲載）
3. 新聞への執筆記事の転載

- ①「なら再発見」②「ディスカバー！奈良」③「やまと百寺参り」④「かるたで知るなら」⑤「やまとの神さま」

広報媒体の制作・発行

3つ目の柱は、パンフレット制作や記念誌の発行です。広く宣伝するため基本的に外部団体に渡すパンフレット（PR媒体）の作成や周年記念誌の発行を行っています。

2016年は5周年、2021年は10周年、2026年は15周年（本号）と順調に発行を担ってきました。記録媒体として残すことには、大きな意義があります。

未来に向け、当グループとしては充実した記事をタイムリーに掲載する仕組みの構築や、編集メンバーの校正・校閲技術やITのスキルアップが課題ですが、今後も広報部員20人全員が一丸となって活動してまいります。

このたびは5周年・10周年記念誌に続き、皆様のご協力を得て15周年誌を発刊できたことに感謝申し上げます。

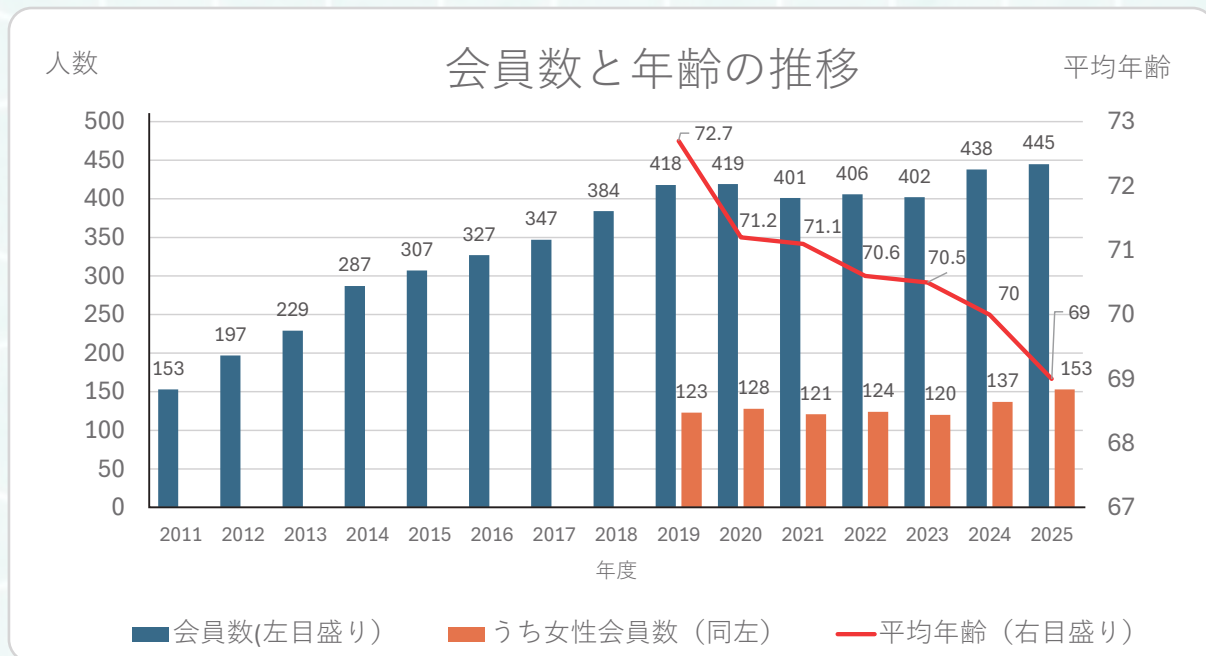


2026年3月 「ソムリエの風」編集メンバー

（広報グループ 吉川和美）

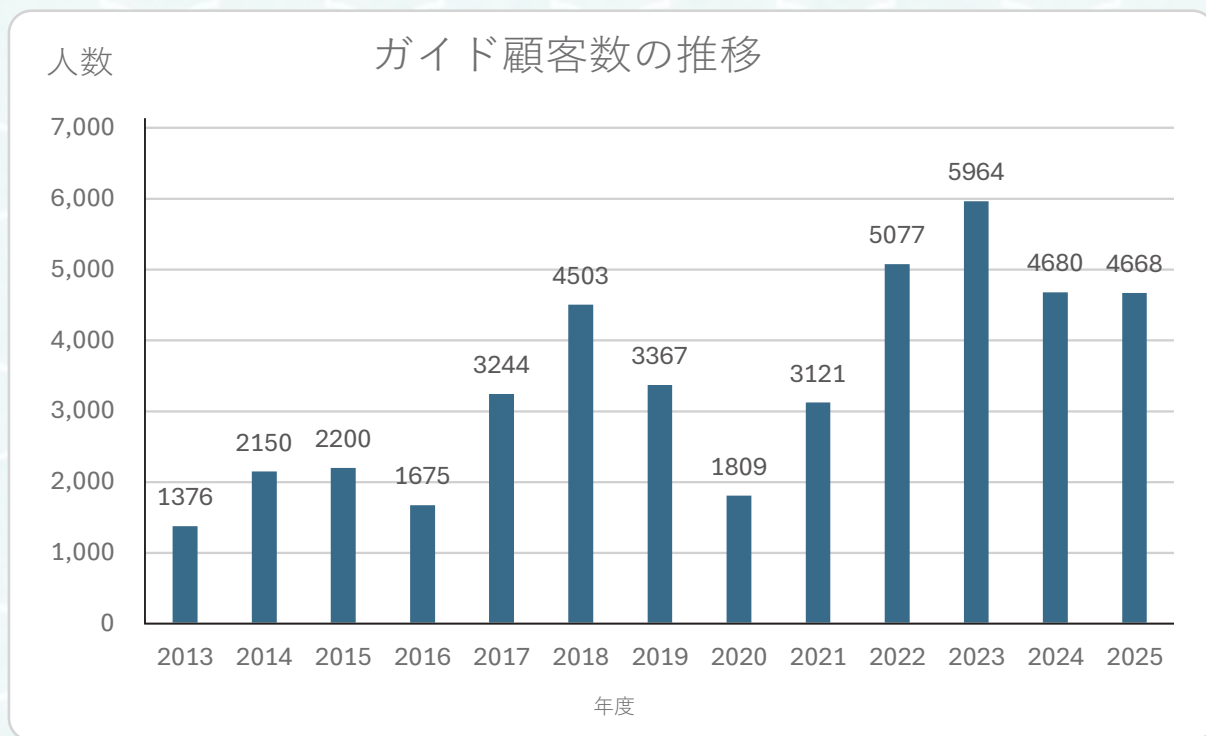
データで見る15年

◆ 会員数



* 女性会員数、平均年齢統計は2019年度開始

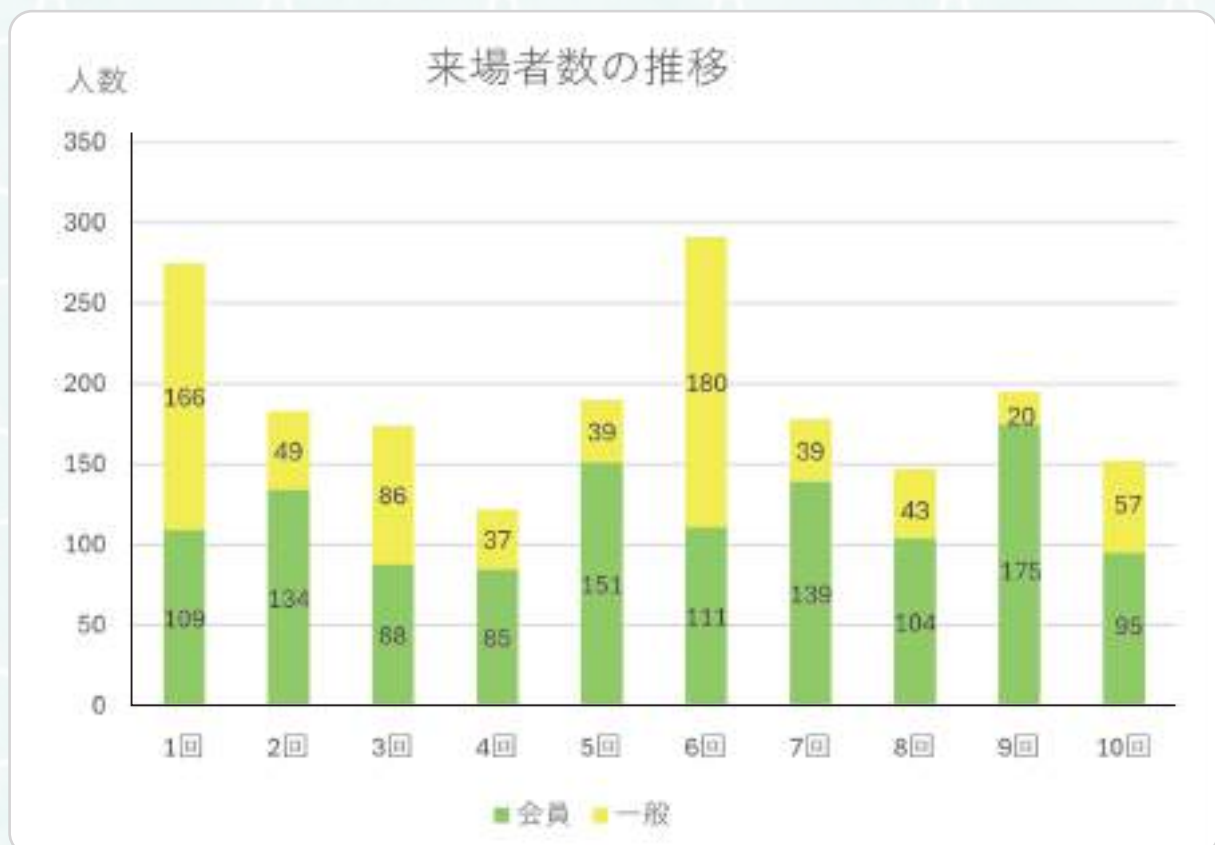
◆ ガイド顧客数



* ガイド顧客数統計は2013年度開始

◆ シリーズ講演会 「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」 連続講演会（肩書は当時・敬称略）

回	開催日	講師および演題	開催場所
1	2015年（平成27） 2月8日	井上さやか（万葉文化館主任研究員） 「記紀万葉の愉しみーはじまりの土地・飛鳥から」	県立万葉文化館
2	2015年（平成27） 5月30日	稲畑ルミ子（奈良県立美術館学芸係長） 「絵画に表された記紀の物語」	奈良ロイヤルホテル
3	2015年（平成27） 9月27日	奥村和美（奈良女子大学教授） 「桜井市の萬葉歌碑」	桜井市立図書館
4	2015年（平成27） 12月19日	橋本裕行（橿原考古学研究所附属博物館 学芸課長） 「明治期の日本画に描かれた記紀」	かしはら万葉ホール
5	2016年（平成28） 6月19日	馬場 基（奈良文化財研究所主任研究員） 「万葉集から古代都城の変遷を探る」	奈良ロイヤルホテル
6	2016年（平成28） 10月30日	菅谷文則（橿原考古学研究所長） 「倭国の女王 卑弥呼」	DMG MORI やまと郡山城ホール
7	2017年（平成29） 6月17日	来村多加史（阪南大学国際観光学部教授） 「天平人が思い描いた神武東征伝説の舞台」	奈良ロイヤルホテル
8	2017年（平成29） 10月8日	田辺征夫（奈良文化財研究所元所長） 「創建法隆寺は焼失したか」	天理市文化センター
9	2018年（平成30） 6月17日	森下恵介（奈良市埋蔵文化財調査センター前所長） 「大寺の成立と展開～飛鳥から平城へ」	奈良ロイヤルホテル
10	2018年（平成30） 11月3日	平林章仁（元龍谷大学文学部教授） 「古代葛城の神話・神社・寺院」	大和高田さざんかホール



◆文化イベント

開催日	文化イベント	会場
2013年 12月21日	(納会) 天理市の雅楽グループ「雅房」による雅楽「越天楽」、舞楽「蘭陵王」の公演	奈良ロイヤルホテル
2018年 2月12日	(新春交歓会) 藤井哲子さん(会員)によるシンセサイザーコンサート	奈良ロイヤルホテル
2019年 10月13日	(講談でめぐるなら) 旭堂南龍さん(会員)による「大仏再建の立役者・公慶上人」の講談とウォーキング	奈良商工会議所 5階大ホールほか
2020年 2月 9日	(新春交歓会) 大和ハーブコンサート(大和ハーブ:井藤和美さん、ギター:伊藤忍さん)	奈良商工会議所 5階大ホール
2023年 12月10日	(師走の文化イベント) 雅楽演奏家の山口創一郎さんが主宰する「陽雅会」による「雅楽・舞楽公演」	奈良ロイヤルホテル
2024年 11月 9日	(秋の文化イベント) パリオリンピック記念「シャンソンのタベ」。 シャンソン歌手のSARAHさんとギタリストの田村太一さんによるライブ	奈良ロイヤルホテル
2025年 11月29日	(秋の文化イベント) おとなバンド「まほろば club」 南都銀行の行員やOBらからなる「まほろば club」によるライブ	奈良ロイヤルホテル
2026年 2月 7日	(新春交歓会) 「古民家居酒屋 想ふ壺」マスター・中川健さんによるマジックとギター演奏	ノホテル奈良



2013年「雅房」による雅楽・舞楽公演



2018年 藤井哲子さん(会員)による
シンセサイザーコンサート



2019年 旭堂南龍さん(会員)による講談



2023年「陽雅会」による雅楽・舞楽公演



2024年 SARAHさんと田村太一さんによる
パリオリンピック記念「シャンソンのタベ」



2025年 おとなバンド「まほろばclub」
によるライブ



◆ 研究発表会（2025年より「『私の推し』のプレゼン大会」に名称変更）

肩書は当時、敬称略

開催日	研究発表演題	会場
2013年 12月21日	「奈良時代の建築の変遷」（加藤英之）、「食の文化史」（鉄田憲男専務理事） 「入鹿の首塚」（露木基勝監事）	奈良ロイヤルホテル
2014年 12月21日	「大峯奥駈道を歩く（その1）」（鈴木英一理事）、「同（その2）」（亀田幸英理事）	春日野荘
2015年 12月19日	「空海の生涯」（鉄田憲男専務理事）、「空海の風景を訪れる」（長岡光彦理事）	かしはら万葉ホール
2018年 2月12日	「世界遺産『大和の参詣道』とスペイン『サンティアゴ・デ・コンポステーラ』を歩く」（鈴木英一）	奈良ロイヤルホテル
2019年 2月10日	「鑑真和上のふるさと～揚州大明寺をたずねて」（石田一雄理事）	奈良商工会議所 5階大ホール
2021年 2月14日	「神仙境吉野の謎に迫る」（京阪奈新書）刊行記念発表（古代吉野を見直す会）	南都商事 セミナールーム
2023年 1月29日	「天皇陵の歩み～陵墓と古墳の二つの顔～」（橋本厚） 「古地図で歩く奈良～江戸時代の名所案内図『和州奈良之絵図』を巡る」（山崎愛子）	奈良公園バスターミナル レクチャーホール
2024年 3月16日	「古代の土木～古代の土木技術と前方後円墳等の築造～」（山下裕章） 「大和に祀られる出雲神～国譲り神話に秘められた真実を探る～」（梅田加都）	南都商事セミナールーム
2025年 2月24日	「大和路の芭蕉句碑を巡る」（磯村洋一） 「魅せられた、かくれ文化財たち」（保存継承グループ）	ホテルリガーレ春日野
2026年 2月 7日	「遣唐使の活躍と苦難を全航海から探る！」（梶本恵三） 「奈良の太平洋戦争」（久門たつお）	ノホテル奈良



2018年 鈴木英一さん



2019年 石田一雄さん



2023年 橋本厚さん



2023年 山崎愛子さん



2026年 梶本恵三さん



2026年 久門たつおさん



◆ 講演会

(※シリーズ講演会「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」連続講演会はP32、啓発サークルの自主勉強会はP22を参照、肩書は当時・敬称略)

開催日	講師	演題	会場
2011年 6月11日	井上和人 奈良文化財研究所副所長	「平城京遷都の真実」	奈良商工会議所 5階大ホール
2012年 2月18日	谷垣裕子 奈良県観光局課長補佐	「奈良県の記紀・万葉プロジェクト」	奈良商工会議所 5階大ホール
	木村三彦 奈良県観光ボランティアガイド連絡会 会長	「記紀を楽しむ」	
2012年 7月16日	岡本彰夫 春日大社権宮司	「奈良の食～その誇りの系譜～」	奈良商工会議所 5階大ホール
2012年 11月18日	浅田隆 奈良大学名誉教授	「奈良－文学の小窓からの風景－」	奈良商工会議所 5階大ホール
2013年 5月 5日	坂本信幸 奈良女子大学名誉教授	「酒と万葉集」	奈良ロイヤルホテル
2014年 5月24日	水野正好 奈良大学名誉教授	「聖武天皇・光明皇后～御夫婦の温かい 愛と陰陽宝剣～」	奈良商工会議所 5階大ホール
2014年 12月21日	松田度 大淀町教育委員会主任技師	「紀伊山地の霊場と参詣道 ～大峯奥駈道を中心に～(その歴史と現状)」	春日野荘
2019年 6月16日	保山耕一 映像作家	「奈良には365日の季節がある」	奈良ロイヤルホテル
2021年 2月14日	松田度 大淀町教育委員会主任技師	「修験道以前の吉野と山の信仰」	南都商事 セミナールーム
2023年 6月11日	城健治 なら橘プロジェクト推進協議会会長	「よみがえれ、大和橘 絶滅の危機から の再生へ！」	東大寺文化センター 小ホール
2024年 6月 9日	田中利典 金峯山寺長騰	「修験道の今日までそして明日から～吉 野・大峯世界遺産登録20周年記念～」	東大寺文化センター 小ホール
2025年 6月 8日	浮世博史 西大和学園社会科教諭	「宗教と古代史～知られざるエピソード～」	ノホテル奈良

15周年記念イベント

① 15周年記念講演会

2026年11月28日(日) 来村多加史氏 予定演題:「飛鳥・藤原地域を楽しく語る案内法」(仮)

② 15周年記念ツアー

(1泊2日) 同年10月17日(土)～18日(日) 永平寺・一乗谷方面
(日帰り) 同年11月5日(木)「玉置神社参拝」バスツアー

③ 15周年記念「出張講演会」

同年7月6日(月) 奈良シニア大学東京校「飛鳥・藤原と東アジア」橋本厚さん

④ 15周年記念特別美化奉仕活動

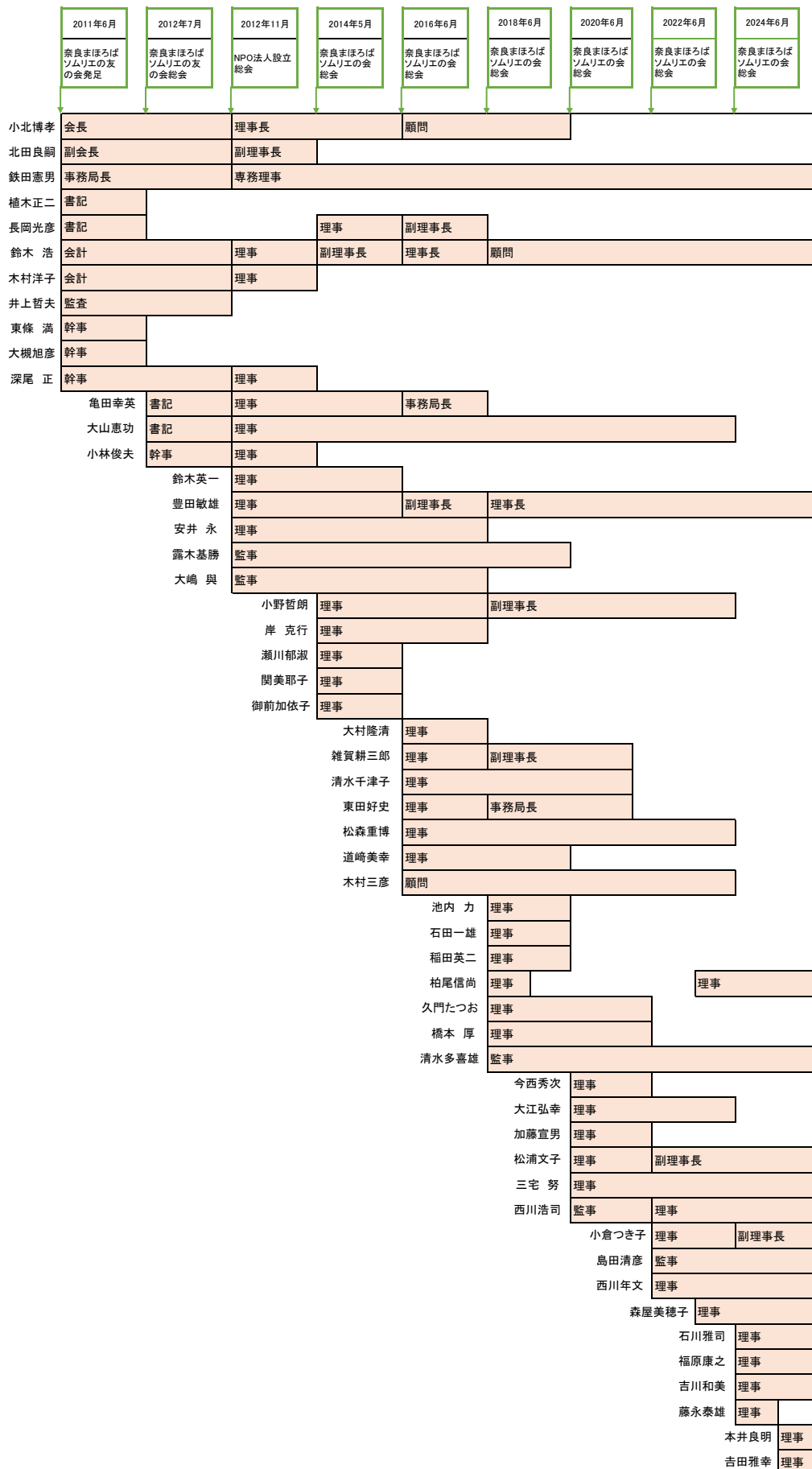
東大寺参道(南大門～大仏殿)の清掃活動 (同年6月28日(日) 午前7時開始)
飛鳥・藤原宮跡(本薬師寺跡又は山田寺跡観音堂周辺)の清掃活動
(同年9月～11月(日時未定))

⑤ 15周年記念トートバッグ制作

⑥ 15周年記念誌発行



歴代役員



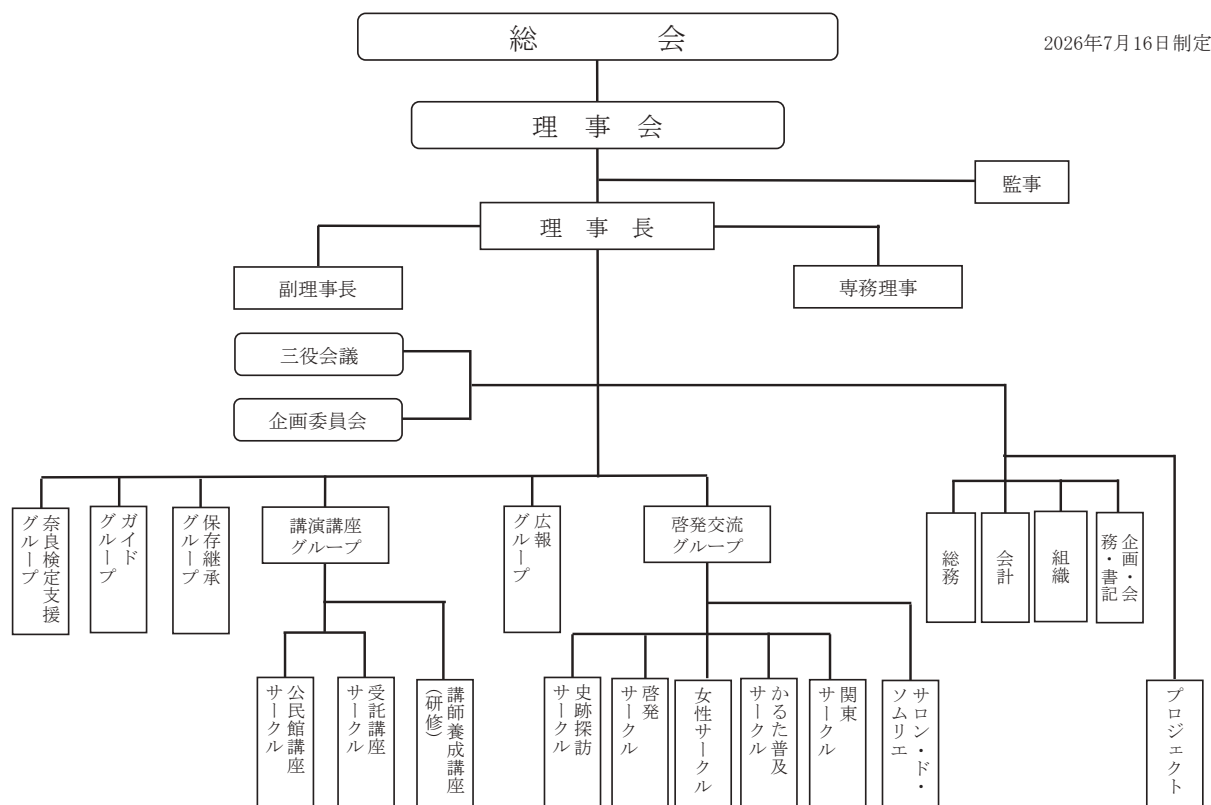
年 表

- 2009年 1月11日 第3回奈良まほろばソムリエ検定試験（「奈良まほろばソムリエ試験」の初回実施
- 2010年 4月24日 平城遷都1300年祭が始まる（同年11月7日まで）
- 2011年 2月 5日 「奈良まほろばソムリエ合格者の集い」（奈良商工会議所主催）が開催される
- 2011年 4月29日 「奈良まほろばソムリエ友の会」を結成、会員数は153人
- 2011年 6月11日 奈良まほろばソムリエ友の会第1回総会および発足の集い（講演会・懇親会）を開催
- 2011年11月18日 会報紙「ソムリエの風」を創刊
- 2012年 9月29日 東京の奈良まほろば館で第1回奈良まほろばソムリエ講座「検定で知る！奈良の魅力」を実施
- 2012年10月 6日 産経新聞奈良版で「なら再発見」の連載開始。会員15人が交代で執筆
（2015年3月28日まで）
- 2012年11月18日 NPO法人設立総会で、特定非営利活動法人奈良まほろばソムリエの会設立を決議
- 2013年 2月 1日 奈良県知事からNPO法人の認証を受け、同6日に法人登記完了（2月6日、正式に発足）
- 2013年 5月 5日 NPO法人の発会式（通常総会・講演会・祝賀パーティー）を開催
- 2013年12月21日 初の「納会・研究発表会」を開催
- 2014年 3月10日 『奈良「地理・地名・地図」の謎』（実業之日本社）を監修・発刊、当会初の書籍となる
- 2014年 6月 3日 奈良佐保短期大学と連携協定を締結、「奈良の伝統行事」（後期授業）を担当
- 2015年 2月 8日 「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」連続講演会がスタート（2018年11月3日まで、全10回）
- 2016年 1月11日 第1回「Nara観光コンシェルジュアワード」開催
（奈良の観光ガイド名人を認定する制度。2020年まで）
- 2016年 6月19日 当会5周年記念祝賀会を開催、5周年記念誌『奈良まほろばソムリエの会の歩み』を発刊
- 2016年 7月27日 『奈良の「隠れ名所」』（実業之日本社）を発刊
（産経新聞連載の「なら再発見」を再構成した本）
- 2017年 1月12日 毎日新聞奈良版で「ディスカバー！奈良」の連載開始。会員23人が交代で執筆
（2019年3月28日まで）
- 2017年 2月17日 第7回「地域再生大賞」（共同通信社と地方新聞45社が主催）で、優秀賞を受賞
- 2018年 1月17日 「奈良まほろばかるた」完成発表記者会見を実施
- 2018年 3月18日 奈良市観光センターで「奈良の歩き方講座」（のち「奈良の語り部講座」）がスタート
- 2019年 2月28日 当会3冊目の著書で初の書下ろし『奈良百寺巡礼』（京阪奈情報教育出版）を発刊
（和辻哲郎著『古寺巡礼』百周年記念出版）。42人が分担して執筆
- 2019年 4月 4日 毎日新聞奈良版で「やまと百寺参り」の連載開始。会員42人が分担して執筆
（2021年3月25日まで）
- 2019年 9月30日 奈良テレビ放送「ゆうドキッ！」に、会員が交代でコメンテーターとして出演開始
- 2019年12月 7日 JR列車をチャーターし「JR万葉まほろばウォーク」を開催、当会としては最高の126人が参加
- 2020年 6月 5日 当会会員（保存継承グループ所属）小倉つき子さんが、『廃寺のみ仏たちは、今― 奈良県東部編』（京阪奈情報教育出版）を発刊
- 2020年 7月21日 南都銀行と「観光振興及び地方創生に関する連携協定」を締結
- 2020年10月31日 会員有志からなる古代吉野を見直す会が『神仙境吉野の謎に迫る』（京阪奈情報教育出版）を発刊
- 2021年 2月28日 当会4冊目の著書『奈良万葉の旅百首』（京阪奈情報教育出版）を発刊（当会設立10周年記念出版）、会員60人が分担して執筆
- 2021年 4月 1日 毎日新聞奈良版で「かるたで知るなら」の連載開始。会員47人が分担して執筆

- 2022年 3月13日 第15回試験から奈良商工会議所主催の奈良検定事業のサポートを開始
- 2022年 4月 1日 講演活動の対応強化、相互啓発体制の整備、新規案件対応を目的に組織を改編
- 2022年 4月14日 毎日新聞奈良版に「やまとの神さま」連載開始
- 2022年 7月 4日 地域活性化や観光・文化振興を目的に王寺町と連携協定締結、その第一弾として10月2日より「奈良検定2級受験講座」を開催。約30人を対象に、毎月2回全8回の講座を実施。以後毎年実施
- 2023年 5月10日 『増補改訂版奈良「地理・地名・地図」の謎』（実業之日本社）を9年ぶりに刊行
- 2024年 2月17日 第4回王寺町クイズ大会「ゆきまるQ」を共催。出題者側で参画し、鉄田専務理事が解説。第5回（2025年2月11日）、第6回（2025年8月2日）、第7回（2026年7月25日）と継続
- 2024年 4月 1日 田原本町のコミュニティ FM「FMまほろば」（79.5MHz）に15分間の番組「まほろば再発」を提供。会員が交代で出演
- 2024年 4月18日 奈良の食文化研究会編著・当会協力の『奈良にうまいものあり！』（なら文化交流機構）を発刊
- 2025年11月 1日 広報グループ、保存継承グループが「認定NPO法人シニア自然大学校」の広報紙に寄稿開始
- 2026年 1月20日 当会会員（保存継承グループ所属）久門たつおさんが、『奈良の太平洋戦争』（京阪奈情報教育出版）を発刊
- 2026年 4月29日 設立15周年を迎える



組 織 図



奈良まほろばソムリエの会15周年記念誌

2026年10月16日 初版 第1刷 発行

発行者 NPO法人奈良まほろばソムリエの会 広報グループ

印刷・製本 京阪奈情報教育出版株式会社

